

## 新潟県三条市下田丘陵における庄川複背斜の構造地質学的研究 Structural geology of the Shogawa anticlinorium in the Shitada Hill, Niigata, northern Japan

品田 航也<sup>1</sup>, 豊島 剛志<sup>1\*</sup>  
Koya Shinada<sup>1</sup>, Tsuyoshi Toyoshima<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 新潟大学理学部地質科学科  
<sup>1</sup> Niigata University

新潟県三条市の下田丘陵において詳細な地質図等を作製し、高分解能反射法地震探査結果(加藤ほか, 2009, 2011)を参照して、地下深部にわたる地質断面図を作製した。その結果、庄川複背斜は東傾斜のリストリック逆断層を伴う断層伝播褶曲であることが明らかとなった。さらに、小断層データを用いた多重逆解法による古応力解析(Yamaji, 2000; Otsubo and Yamaji, 2006; Sato and Yamaji, 2006; Otsubo et al, 2006)を行った結果、庄川複背斜が座屈に形成されたことを示す応力場を含む、3つの応力場が分離された。また、褶曲の形成過程と古流向解析を合わせると、庄川複背斜の隆起は魚沼層下部の堆積時より前ではない、すなわち約2 Ma以降に始まったと考えられる。

キーワード: 庄川複背斜, 断層伝播褶曲, 小断層解析, 古応力, 古流向解析, 新潟堆積盆

Keywords: Shogawa anticlinorium, fault-propagation fold, minor fault analysis, paleostress, paleocurrent analysis, Niigata sedimentary basin